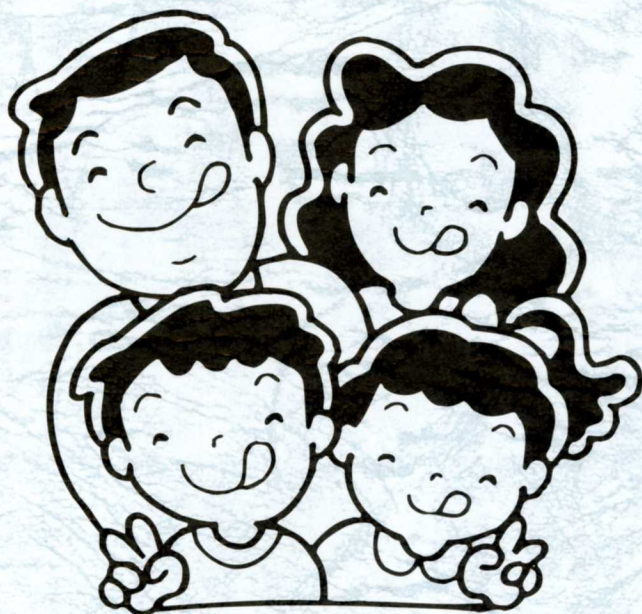


平成28年度



青少年の主張

★伸びよう 育てよう 羽後の青少年★



よその
うちの
社会の **子。**

彼らもうすぐ立派な
社会人。
うちの子も、よその子
も共に明日を築くパート
ナーです。

青少年育成羽後町民会議

はじめに

青少年育成羽後町民会議

会長 高橋 榮治

第三十二回「青少年の主張」作文発表会を、昨年の十二月三日（土）に活性化センターにおいて開催しました。

当日はご多用の中、ご来賓の皆様、発表してもらおうお子さんの保護者の皆様やご家族の皆様、学校の先生方、青少年育成関係者の皆様、町民の皆様、当会会員の方々にお越しいただき有難うございました。厚く御礼申し上げます。今年は町内の小学校から二十三編、中学校から五編の応募がありました。十一月十六日（水）に作文審査会を行い、特選四編、入選五編、佳作十四編を決めました。

どの作品も力作でした。お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃん、家族を大切に思う思いが豊かでした。正しい気持ちを持ちたいとする、強い気持ちが伝わってきました。生き生きと活動しようとする、ひたむきな姿勢が伝わってきました。生活の中で見聞きしたことをもとに、今の自分やこれからの自分と重ね合わせ、どんな自分になりたいかを考えて行動に移す姿に、ドキドキさせられました。

「望めばかなう」という言葉を聞くことがあります。望むことや努力することがはつきりしてくると、熱心に頑張りとおすようになります。このことで自分自身が成長していくことなのだと思います。身の回りの人の声や読書などを通して、見方や考え方、行動する力が伸びることを期待しています。

近年、町民の方から、作文発表会についての問い合わせをいただくようになってきました。子どもたちの成長している姿に期待している声を聞くことができ、ありがたく受け止めているところです。今後も町民の皆様に発表会のご案内をお届けします。多くの方に会場へお越しいただけますことを願っています。

青少年育成羽後町民会議では、これからの羽後町を担う子どもたちに、日々の生活で、観たり聴いたりしたことや体験したことを通し、感じる力や考える力、伝える力の成長を願い、会をあげて取り組んでまいりますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

「コウ学力」を考える

羽後町教育委員会

教育長 大久保

聡

青少年育成羽後町民会議の皆様には、これまで長年にわたり子どもたちの健全育成にご尽力をいただき、心より感謝とお礼を申し上げます。おかげさまで羽後町の子どもたちは、感受性豊かで、思いやりと創造力、そして未来への大きな夢をもつて何事にも生き生きと取り組むたくましい子どもに育っております。

今年初めて出席させていただきました「青少年の主張」作文発表会では、子どもたちの堂々とした立ち居振る舞いや感性豊かな切り口からの作文発表に、感動と元気をもらう一日となりました。家族との関わり、学校での友達との関わり、書物やニュースなどを通して、様々な視点から考えさせられたこと、学んだこと、そして自分の将来を見つめる眼差しなど、そこには確かな成長がありました。これも温かい家族、切磋琢磨して互いに高め合う友達がそこにいるからこそ、成長できるのだと思います。

先般、先生方で「コウ学力」に漢字一字を当てはめて学力観を考える機会がありました。代表的なものは、

- ① 幸学力（自分も周りも将来幸せに生きていくために身に付ける力）
- ② 好学力（好きなこと、興味を持ったことを追究することで身に付ける力、または追究していく力）
- ③ 交学力（人や作品、本などとかかわることで身に付ける力、または交わる力）
- ④ 孝学力（家庭や地域から学ぶ力）
- ⑤ 広学力（広い領域への知的好奇心）

などでした。他にも、厚学力、巧学力、耕学力、効学力、公学力などが出されました。こうしてしてみると先生方は、それぞれの教科や、学校・家庭・地域社会での様々な活動を通して、幅広い豊かな学力を育てようとしていることが分かります。そして、学力が「学んだ力」も大事だが、「学ぶ力」をイメージしていることも分かります。言い換えれば、「生きる力」と言うことができます。

温かい家族、魅力ある学校、それを優しく包み込んでくれる地域社会が一体となり、チーム羽後町として子どもたちの健やかな成長と、「生きる力」を育んでいくことができますようお願い申し上げます、お祝いの言葉といたします。

● もくじ

■ はじめに

■ 「コウ学力」を考える

【小学校低学年の部】

・特選「ぼくのお父さんは、何でもやさん」……………1

羽後明成小学校二年 照井大誠

・入選「田んぼのお手つだい」……………2

高瀬小学校二年 佐藤結羽

■ 審査講評《小学校低学年の部》……………3

【小学校中学年の部】

・特選「ぼくの『やさしい人大さくせん』」……………4

羽後明成小学校三年 佐々木 快

・入選「友だちがふえた」……………5

高瀬小学校四年 茂木愛梨

■ 審査講評《小学校中学年の部》……………6

【小学校高学年の部】

・特選「文化のちがいをこえて」……………7

高瀬小学校六年 茂木真愛

・入選「地域の活性化に向けて」……………8

羽後明成小学校五年 斎藤水涼

■ 審査講評《小学校高学年の部》……………9

【中学校の部】

・特選「勇気の心理学」……………10

羽後中学校三年 阿部美咲

・入選「僕は信じている」……………12

羽後中学校二年 石綿 丞

・入選「その一歩がつながる」……………13

羽後中学校二年 伊藤佳歩

■ 審査講評《中学校の部》……………15

■ 佳作者一覧

